

トヨタ カローラ ツーリング ハイブリッド (ZWE219) 2025年式

コンセプトは『純正のディスプレイオーディオ車でもハイレゾ音源の音楽をもっと楽しもう!』です。

DSPと呼ばれる音楽信号をコントロール出来るシステムを内蔵したアンプを使っています。これのオプションにあるコントローラーを使用する事により、純正の信号(ラジオやTV等)とスマホやデジタルオーディオプレーヤー等からのデジタル信号を切替えて聞く事が出来ます。これらのコントローラーがエアコンパネルの下部に取り付けてある以外は、邪魔にならない様に全て運転席の下に取り付けてあります(DSPアンプやBluetoothユニット等) 実質見た目で純正と変わっているのは、フロントガラス両サイドのAピラーのみです。



高音用のツイーターと中音用のスクーカーはAピラーを加工して取付けています。



audison (オーディソン) 『B-CON』



スマートフォンやデジタルオーディオプレーヤーから受けたBluetooth信号をデジタル(光)信号で出力出来る装置です。ここからDSPアンプに入力します。高音質コーデックのLDACにも対応しております。



ADONN(アドン) 『DSD-Z10』



USBプレーヤーです。USBに入っている音楽をデジタル(光)信号で出力出来る装置です。もちろんハイレゾ音源に対応してますし、曲の情報やジャケット画像も表示することが出来ます。

audison 『DRC MP CAN』



DSPアンプのコントローラーです。純正の信号(ラジオやTV等)とスマホやデジタルオーディオプレーヤー等からのデジタル信号を切替えるのに使います。ボリュームやバランス、調整済みのメモリーを切替える際にも使います。

audison 『AF C8.14bit』



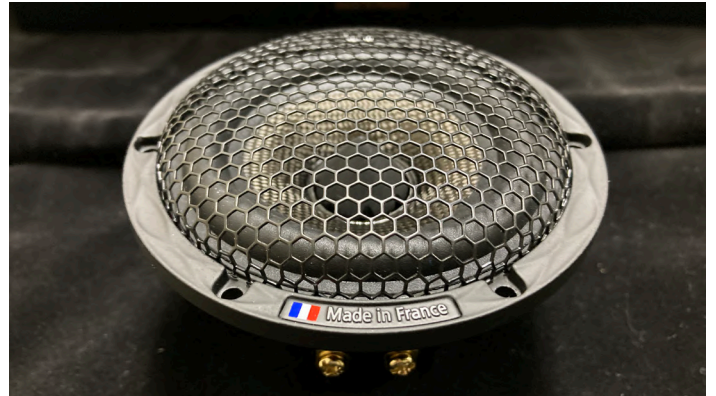
DSP機能付きのアンプです。65Wの出力を8チャンネル分内蔵しております。パソコンを使って細かく音を調整出来ますので、お客様の好みや環境に合わせた音作りが可能になります。

BLAM (ブラム) 『AMT-1』



エアモーショントランスフォーマーと呼ばれる、大きな放射面積を持つ軽量ブリーツ振動板を使ったトゥイーターです。高域は35kHzまで伸びておりハイレゾ音源にも対応しています。ハイレゾ音源の繊細で微妙なディテールを、色付けや目の疲労感なしに再現出来ます。

BLAM 『MB 3』



ドアに採用する6インチと同様に高品質のティアドロップ型ネオジウム・マグネットを10個使用した3インチサイズのスクーカーです。さらに超剛性カーボン振動板による歪のないクリアなサウンドをお届けします。情報量も多く音楽の中枢を担う中音域の再生を安心して任せられます。

BLAM 『MB 6D』



新設計のアルミニウム・フレームによりインストールの可能性が広がりました。また、放熱効果にも配慮し大音量でも安定したサウンドが得られる6インチのウーファーです。MB 3で説明しましたが、こちらにも同じタイプのマグネット・振動板が採用されております。スピーカーユニット全てがフラグシップ・モデルの『Signature Multix Barrel』となります。

M&M DESIGN 『MX-611II』



耐腐食性に優れ、高剛性でありながら非磁性体のジュラルミン系アルミ無垢材で作られた車種専用設計のインナーバツフルベースです。長期間に渡りスピーカーユニットががっちり受け止める事が出来ます。

M&M DESIGN 『PCD-1』



スピーカーの取り付け強度アップにぴったりなアルミバツフルです。腐食防止処理でゴールドアルマイトが施されています。

Felisoni (フェリソニ) 『C-1』



カーオーディオ専用にチューニングされた吸音材です。従来品では吸い切れなかった低音域にも効果があります。

Felisoni (フェリソニ) 『LDM-0.2 (WHITE)』



カーオーディオ用途に最適化した制振材です。凹凸の多い部分にも対応できる伸張性を持っております。